

夏休みの宿題も解決？

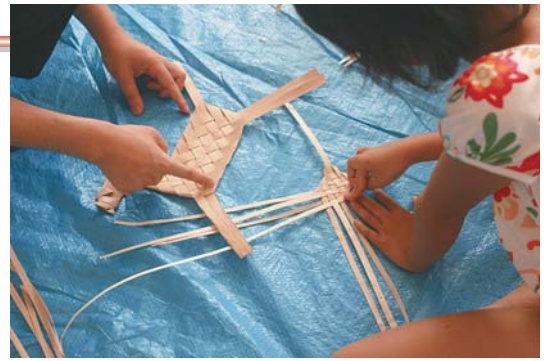
8月6日、かたくり館(西木町八津)を会場に「イタヤ細工と紙すき体験～内陸線に乗って～」(主催:県仙北地域振興局)が開催され、市内の小学生や保護者など22人が参加しました。

この事業は、内陸線に乗って、日本の原風景といわれる車窓からの景色を堪能し、さらに、市内に伝わる伝統工芸が二つも体験できる、とても贅沢な企画です。

イタヤ細工の体験では、講師の指導や見本どおりに編んだり織ったりしているつもりでも、気がつくと編んだ回数が違っていたりと悪戦苦闘。両手の指で数を数えながら、一生懸命にオリジナル作品を作っていました。

鎌足和紙の紙すき体験では、紙をすくのはもちろんですが、原料の下ごしらえも体験できるとあって、紙をすく工程よりも下ごしらえに夢中になっている参加者も見受けられました。

体験を終えた参加者は、自分で編んだイタヤ細工を手し、和紙が乾燥後に送られてくるのを楽しみに、会場を後にしました。帰りの車窓からの風景は、ひと味違ったものに見えたのではないのでしょうか。夏休みの、楽しい1日になったことと思います。



見事な牛がズラリ!初の総合優勝!!

7月26日(日)に大仙市大曲家畜市場において、「第4回大仙・仙北・美郷畜産共進会」が行われました。

仙北市からは黒毛和牛29頭が出陳され、第1部肉用牛第1類(若牛)で角館町白岩の草薨秀世さん、同部第5類(成牛)で角館町八割の辻谷緑さんの出陳牛が、優等賞に輝きました。その他にも上位入賞が多数見られ、当管内の角館チームが初の総合優勝を獲得しました。



審査風景



角館チーム

今回の共進会で上位入賞を果たした4頭が、9月5日(土)に大仙市神宮寺の秋田県畜産試験場で行われる、「第92回秋田県畜産共進会」に出陳されます。県共進会でも入賞が期待されます。

今年の花もたのしみです

田沢寿会では平成17年から毎年、田沢交流センターの花壇に、コスモスやヒマワリなどの花を植えています。

自分たちが出来ることで、他の方々の心の癒しになればいいなと思ったのが植栽のきっかけで、植栽の他にバス停の清掃なども行っています。

30人のメンバーの半数以上は70代ですが、みんなとっても元気です。時々、みんなで交流センターに集まって、花の世話をしながらお茶を楽しんでいます。

今年もキレイな花が咲き、訪れる方々の心を癒してくれることでしょう。

